学校番号	1201

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新版　公共」　（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の社会と人間についての理解を深める。
・人間としての在り方生き方についての自覚をもつ。
・平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている	現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第一章　公共的な空間を作る私たち	青年期と自己形成 人間としての自覚 日本人としての自覚	a: 青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。古代ギリシアや中国の思想家の思想や三大宗教の内容が理解できている。古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容が理解できている。 b: 自己形成の課題について考察できている。先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。生活文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響について気付くことができている。 c: よりよく生きることについての自覚を深められている。先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究できている。日本の伝統思想や文化，受容した外来思想から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか主体的に追究できている。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

	第二章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方	西洋近現代の思想 現代の諸課題と倫理	a: 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 b: 先人の生き方を通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方が考察できている。公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 c: 選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
2	第三章　公共的な空間における基本原理	民主社会の基本原理 日本社会の基本原理	a:法などの社会規範の役割が理解でき，日常生活と関連づけて考察できている。日本国憲法の三大原理や第 9 条の内容が理解できている。 b:民主政治における国家と個人のあり方が考察できている。日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ，その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できている。 c:民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。日本国憲法の基本原理に基づいた社会のあり方について，自分なりに構想できている。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

	第四章　現代の民主政治と政治参加の意義	日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題	a:日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できている。選挙のしくみや政党の役割を理解できている。 b:行政機能拡大の是非について主体的に考察できている。選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付くことができている。日本の政治について課題を発見し,解決する見通しが持てている。 c:模擬裁判などを通して,司法に関心を持ち,裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。模擬投票などの実施により,政党や選挙を身近に捉えることができている。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題
3	第五章　現代の経済社会と経済活動の在り方	経済のしくみと市場機構 財政と金融 日本経済の発展と変化	a: 現代の企業の果たしている役割や市場経済のメカニズムが理解できている。金融・財政のしくみを理解し,経済状況に応じて適切な手段を提示できている。戦後日本経済のあゆみが理解できている。 b:現代の企業倫理について考察できている。GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか,豊かさについて自分なりに判断できている。経済のサービス化が進展し,国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。 c:市場機構だけでは解決できない経済的課題も多く,市場機構を修正している具体例を指摘でき自らの生活と結び付けて経済と接することができている。消費税や所得税などの税金の使途に関心が持てている。経済社会に主体的に生きる一員として,今後の日本経済について見通しがたてられている。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

	第六章　国際社会の動向と日本の役割	国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割 国際経済の動向と国際協力	a:国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。戦後の国際経済の流れが理解できている。 b:集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。国連の現状と課題について考察できている。円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察できている。 c:国際社会で平和と安全を維持するため何が有効なのか, 自ら意見が持て他者と意見の交流ができている。民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持てている。発展途上国の貧困・飢餓や国際社会における日本の役割について関心が持てている。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度